



Tanabe East Rotary Club in 2018-19

2018-19年度RI会長：ハリー・ラン

第2640地区ガバナー：樫畑 直尚

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：武田 静也

幹事：野村 憲司



インスピレーションになるう

例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 武田 静也



■本日のプログラムは、会員卓話として、新入会員の玉置 佳範（たまき よしのり）君です。後ほど宜しくお願い致します。

■11月25日（日）田辺東RCのゴルフ同好会の忘年ゴルフコンペと忘年会が開催されました。お天気にも恵まれましたが、皆さん、成績はいかがでしたか。その夜のゴルフ同好会の忘年会にも多数のご参加頂き有難うございました。お疲れ様でした。

■本日はいつもと違うお弁当となっております。クラブ奉仕B委員会の企画で「和づち」さんです。

○幹事報告 幹事 野村 憲司



■例会日時変更

◎田辺はまゆうRC

12月25日（火）→ 12月25日（火）18:30～

場所：白良荘グランドホテル <忘年例会>

2019年1月1日（火）→ 休会

◎串本RC

12月11日（火）→ 12月8日（土）12:15～

場所：ヒルトップ和田金 ロビー

<茶木みやこ&いわさききょうこのライブ>

12月25日（火）→ 休会

2019年1月1日（火）→ 休会

◎海南東RC

12月3日（月）→ 12月3日（月）19:00～

場所：「美登利」海南市船尾185

<年次総会>

12月31日（月）→ 休会

2019年1月7日（月）→ 1月7日（月）19:00～

場所：和歌山マリーナシティホテル

<新春夫婦例会>

■回覧

◎「英語版ロータリアン12月号」

◎RI日本事務局より「財団室NEWS 7月号～11月号」

■連絡

◎12月のロータリーレートは 1ドル=112円 です。

○本日の唱歌

「あゝ田辺東ロータリー」 唱歌 橋 博君



○出席報告

会員数 45名 義務免除 6名 本日の欠席者 11名
本日出席率 71.79% 11月14日の修正出席率92.31%

〇にここに報告

(敬称略)

◇玉置さん 頑張ってください。

愛須勝章、上原俊宏、岡本博、沖史郎、
木村壽一、後藤信博、坂本正人、武田静也、
竹中悟、竹村英一、橋博、谷中順次郎、
中嶋伸和、野村憲司、橋本隆、本田耕二、
丸山博之、山本亘、渡口眞二

◇本日森本副会長 欠席（ストレス潰瘍？）お大事に。

◇玉置佳範 本日卓話をさせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。
お花、いただきます。

◇泉房次朗 若き社長の卓話楽しみにしています。

◇西谷貞彦 玉置さん、今日は楽しみにしています！

◇佐田一三 RCゴルフコンペ BB賞とりました！

〇本日のプログラム

新人会員卓話

玉置 佳範君



皆様、改めましてこんにちは。

先日入会させていただいた、新入会員の玉置佳範でございます。本日は新入会員の卓話という事で、緊張しておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

まだまだ、ロータリークラブの事は勉強中ではありますが、記念すべき45周年の年に入会させていただき、光栄に思っています。

本日、お話しする内容に関しては、自分自身の事、仕事の事、家族の事などを自己紹介するような形でお話ししたいと思っています。途中で偏った考え方のところもあるかと思いますが、ご容赦いただけたらと思います。

私は昭和52年生まれ、41歳でございます。

同じ誕生日の有名人ですが、女優のさかしまきさん、歌手のじょうのうちさなえさん、V6のいのらはよしひこさんなどがおられます。

特に、本日の内容とは関係のない余談でした。

生まれ育った地域は、田辺市上の山です。

今の田辺警察署の道の反対側です。

以前は田辺市元町というところでした。

それから、幼稚園に行き、田辺第三小学校、それから明洋中学校へと進学しました。

中学生の時はバスケットボール部に所属しておりました。

それから田辺高校に進学し、その後、東京の工学院大学（建築学科）という大学に進学しました。大学を卒業する時になり、就職する時には、父から、しばらくは他人のメシを食べて修行してこいと言われ、卒業後は建設会社に入社し、東京あるいは大阪と先輩方に仕事を教えていただきました。

そして、ぼんやりとですが、いつかは田辺に帰り家業を継ぐという、考えが自分の中にあっただのかもしれませんが、その中に、父の願いでもあったのでしょうか、一級建築士を取りなさいという事がありました。

これは、父自身が建築の大学を出て、東京、大阪で仕事をしながら建築士の資格を取ったという自負みたいなのがあったのかも知れません。

父は簡単に言葉で言っていましたが、私が建築士の試験を受けようとして一生懸命やっていた時期というのは、2006年（平成18年）とか2007年（平成19年）頃でして、その時期というのは少し前2005年（平成17年）頃に、姉歯建築士による構造計算書偽造問題というのが世間で起きてまして、建築業界に対する風あたりというのが大変強くなっていた時期でありました。

それからですが、建築士に対するモラルや資質みたいなのが、言われるようになってきました。建築士の試験問題にもモラルに関する問題が出題されるようになってきたと思います。

学科、製図試験とあるのですが、両方通じて、もともと合格率の低い、合格率10%程度の難関の試験でしたが、より厳しさがあったように思います。その当時は、姉歯建築士を恨みました。姉歯建築士が偽装しなければ、もう少し易しかったかもしれないのに・・・。その様な事を毎日思いながら、勉強しました。

そして、何とか2007年（平成19年）の製図試験を受験して、何とかその年の年末の合格発表で合格をいただきました。

今思えば、製図板を担いで（車がなくて電車で通いなので）、資格学校に通う生活はもうしたくありません。

そして、父とも話をし、田辺に帰る事にしました。その後、翌年の2008年春（平成20年）から帰郷し、いよいよ、弊社株式会社 テンコーライフに入社する事になりました。歳は30歳になっていました。所属は建築部でありました。

それから、社長であった父がすぐに、病気で倒れ、父の補佐をしながら、昨年9月に代表取締役の交代をしました。

弊社の商号であります、「テンコーライフ」は以前は「天光組」という名前でした。もともと「天光組」という名前だったものを平成8年に改称しております。ここで少し、天光組という社名の由来について、少しお話ししたいと思います。

創業者である、私の祖父は戦前、田辺市本町の大工の棟梁佐藤氏（佐藤伝吉氏）に弟子入りして、大工をしていました。

そして、戦争が始まって、駆逐艦の信号員として、戦争の末期には本土に戻ってきていたそうですが、太平洋戦争中、海軍軍人としての忘れ難い思い出というのが、この社名に。

祖父は私が3歳の時に亡くなっているので、ここからは、会社に残っていた記念誌をもとにお話ししたいと思います。

昭和19年の事であり、当時、山口県笠戸島（かさどじま）に基地を置く、回天の特攻隊として、参加し、出撃命令が下れば、再び生きては帰れぬという覚悟を胸に抱きながら、基地でのきびしい訓練の日々を送っていたそうです。

そして、夜ともなれば、その笠戸島からは海上はるかに明滅する「光工廠」（光海軍工廠、山口県光市にあった海軍工廠、砲煩（大砲の意）、製鋼、水雷、造機（様々な機械を設計、製造）、爆弾の各部）の灯りが

見えたそうです。その灯りを眺めながら、幾夜も、戦友と共に、祖国日本にささげたお互いの運命を語り合ったそうです。

そして、終戦を迎え、生きて田辺に帰り、小さいながら会社を起こす事になるのですが、その社名には光工廠の「光」の文字を入れたかったそうです。光工廠の灯りこそが、不思議な運命転換の灯りであって、前途を輝かす幸運の灯りとも見たそうです。

そこで、はじめは「光建設」あるいは「光組」などの名前が、頭に浮かんだそうですが、これでは物足らぬという事で、「光」の上に「天」を加えると良いという事で、社名を「天光組」、キャッチコピー「天に光あり、地に恵みあり」という事で落ち着いた。

「天に光あり、地に恵みあり」というコピーは今でも使っております。

いつかは山口県 笠戸島に行ってみたいと思っております。

当初の資本額は50万円。

私は昨年度代表者に代わったばかりですが、弊社の古い歴史を知る人間としては、最後の方になるのではないかなと思っております。

私は現社長として、また家を継ぐ者として、会社がこれまで、どのような事をしてきたのか、どのような歴史を歩んできたのかという事を知る義務のようなものがあるのではないかなと思っております。

日々の仕事などを通じて、関係者の方々より、創業当時の事であったり、祖父の事であったり、父の事も聞くことがあります。

また、会社に残っている過去の写真や資料なども、整理されていないものもあり、そういうのも整理しなければいけないと思っております。

そして、私でも、人から言い聞かせて伝えられている状況で、自分の次の世代になってくると、もっとさらに、直接的な関連性は薄くなっていくのではと思っております。

この先も商売を続けていく上で、工事の品質を維持、改善、技術の研鑽に努めるとともに、その様な事を思っております。

（↓（株）テンコーライフHPより）

「天に光あり、地に恵みあり」

私たちは、建設を通じて 心と技術で、よりよい生活の向上に貢献します。

ゴルフ。

32歳の頃から、色々な人との付き合いがあって、ゴルフを始めました。先日の忘年ゴルフコンペにも参加させていただきましたが、あまり上手ではありません。やりはじめた頃は少し人にも習っていましたが、出来の悪い生徒だったと思います。教えてもらっていた人が、練習場に居なくなって、練習に行く事は少なくなりました。

上の山に会社の資材置き場があるのですが、そこにネットを張って、練習していた時もあったのですが、今は枯葉の吹き溜まりになっています。また、仕事が忙しい時であったり、青年会議所の活動が忙しかったり、子供がまだ小さかったりと、そのような事もあって、最近では気が向いた時だけ、夜に練習場に行っています。

ハンデ30以上の人はゴルフをおろそかにする。

最近では、もう少し、まじめにゴルフをしようと思っています。ゴルフを通じて人に会おう事もできますし、学びを得る事もあります。もう少し真面目な充実したゴルフ人生を送りたいと思っています。

釣り。

もともと釣りは好きでした。子供の頃から友達とよくチヌを釣りに行ったりしていました。今の会社に入社した時も、会社の社員さんとよく磯釣りに行ったりしていたのですが、今の会長（当時社長）が体調を悪くしてから、仕事も私生活も大幅に変わって、釣りに行く事はほとんどなくなりました。

子供とたまに、天神崎に行ったりするくらい。

以前もっていた道具も埃をかぶって傷んで、ダメになってしまいましたが、会社と協力会社の会の釣り大会というのが、ここ何年か開催されていて、去年は天候や台風の影響で中止となったのですが、今年は晴天の下開催されまして、大勢の人が参加してくれました。

私は、釣りそのものには参加しなかったのですが、大会の挨拶と、商品のプレゼンターとして、顔を出させていただきました。

やはり、人が釣りをして楽しそうにしていると自分もまたやりたくなります。

最近では友達にイカ釣りを教えてもらいながら、少しずつ復活しようとしています。まだ、釣れていませんが・・・

私の義理の父は船釣りが専門でして、腕前も相当なものらしいのですが、同じ釣り船で、阪本智子さんに出会ったと言っていました、シマノの釣り番組に出ている、モデルさん。その時は・・・

最後に。

年齢が41歳という事で、まだまだ世間から見たら若輩者なのかもしれません。まだまだ、これから仕事も人生もやるべき事がたくさんあるのかもしれません。私は30代を青年会議所というところに所属していて、8年間所属していました。自分自身が理事長をさせていただいた時に、自分の所信の中でも少しだけ書かせていただいたり、自分の挨拶の中でも何度か言わせてもらった事があるのですが、青年会議所は40歳で卒業する団体です。そして、青年会議所の価値というのは卒業してからが本当の意味があると、思っています。それは、なぜなのかと言うと、青年会議所活動の中で培った経験や知識などを、40歳からの仕事や地域の社会活動に生かしていくべきなんだろうと思っています。そのための人材の開発を行っている、その様な団体であると思っています。

今、私は41歳で卒業し、田辺東ロータリークラブに入会させていただきました。

もちろん仕事もありますし、家庭も大切にしないといけないのですが、今、新たにロータリークラブの活動を通じて、社会に奉仕し、そしてまた自己の成長のために活動をつづけてまいりたいと思っています。

〇編集後記

編集後記ひしのみ11-28

全国的にクラブ活動の前期がまもなく満ちて、折り返し点にさしかかる季節となってきた。当クラブでも前期の委員会報告がまもなく開催されるが、当クラブ内の組み合わせが4つのグループに大別されてから2回目の季節となっている。役職を固定せず、グループ内での活動は、グループ内での全員が出来るように理解し協力してゆくという理念を再認するという秋（とき）になっている。前半で学習、後半で実戦となるクラブ体制を確立しよう。艶のあるクラブ活動に明るい花を咲かせるために。



艶蒔：つわぶき：石路の花